

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【公開番号】特開2019-150652(P2019-150652A)

【公開日】令和1年9月12日(2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-037

【出願番号】特願2019-95239(P2019-95239)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月16日(2019.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球を用いて遊技を行う遊技機であって、
遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤と、
前記遊技盤の前面側を覆う前扉と、
を備え、
前記前扉は、
前記遊技領域に対応する位置に設けられる窓部と、
前記窓部よりも外側の位置に設けられる周辺装飾手段と、を備えており、
前記周辺装飾手段は、
所定の通常姿勢と、該通常姿勢よりも前傾する前傾姿勢とに変化し得る可動部と、
前記可動部に設けられ、遊技者により操作可能な押しスイッチ部と、を有し、
前記押しスイッチ部は、前記可動部が前記通常姿勢から前記前傾姿勢になる際に、前記可動部と共に移動する
することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記の目的を達成するため本発明は、
遊技球を用いて遊技を行う遊技機であって、
遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤と、
前記遊技盤の前面側を覆う前扉と、
を備え、
前記前扉は、
前記遊技領域に対応する位置に設けられる窓部と、
前記窓部よりも外側の位置に設けられる周辺装飾手段と、を備えており、

前記周辺装飾手段は、

所定の通常姿勢と、該通常姿勢よりも前傾する前傾姿勢とに変化し得る可動部と、

前記可動部に設けられ、遊技者により操作可能な押レスイッチ部と、を有し、

前記押レスイッチ部は、前記可動部が前記通常姿勢から前記前傾姿勢になる際に、前記可動部と共に移動する

遊技機を提供する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、新たな遊技用の演出が行える効果がある。